

グランシップ 出前公演 in 御殿場

人形浄瑠璃文楽 事前レクチャー

山川静夫 刃 ここがみどころ ききどころ

～文楽人形遣いにせまる～



写真：山口 敬三

入場料：一般1,000円 こども・学生500円

12/10(日)～受付開始 ※事前申込制、未就学児入場不可

申込方法

電話、またはグランシップホームページ内専用申込フォームからお申込み下さい。
御殿場市民会館 TEL.0550-83-8000(8:30～21:30) ※会館窓口でも受付可
グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000(10:00～18:30)

<http://www.granship.or.jp/>

グランシップ

検索

2018年2月4日(日) 14:00開演(13:30開場) 御殿場市民会館 小ホール

山川静夫のここがみどころ・ききどころ

ユネスコ無形文化遺産で、日本が世界に誇る伝統芸能「人形浄瑠璃 文楽」。

2018年3月に「グランシップ出前公演」として御殿場市で初上演されます。

文楽は、太夫、三味線、人形遣いの三役が揃ってはじめて成立する総合舞台芸術。

今回は、文楽にまだ触れたことのない方、より深く公演を鑑賞してみたいという方のために、伝統芸能に造詣が深く、楽しいおしゃべりが人気の、静岡県出身・元NHKアナウンサーの山川静夫さんが、文楽の楽しみ方や、3月に上演される「曾根崎心中」のあらすじやみどころを分かりやすくお話しします。また、今もっとも人気の人形遣い・吉田一輔さんをお招きし、普段見られない人形遣いの技術や人形の仕組みを実演を交えながらご案内します。伝統芸能を支える技芸員の方から、直接お話しを聞く事ができる貴重な機会です。



写真：山口敬三

山川 静夫 | やまかわ しずお

1933年静岡県間神社の神主の長男として生まれる。56年國學院大學卒業後、NHKに入局。

『紅白歌合戦』司会者を9年連続で務め、ユーモアにあふれたしゃれた話しぶりがお茶の間に人気を呼ぶ。

また『ウルトラアイ』『邦楽百選』など、科学、邦楽、歌舞伎番組等を担当。幅広い視聴者層の支持を獲得する。

大学時代からの歌舞伎愛好家で、文楽通としても知られる。現在はエッセイストとして活躍。

著書に『勘三郎の天気』『文楽の男』『文楽の女』『私の出会えた名優たち』『歌右衛門の六十年』『花舞台へ帰ってきた』『大向うの人々』『歌舞伎の愉しみ方』『歌舞伎は恋』など多数。2017年8月に、『山川静夫の文楽思い出ばなし』を刊行。



吉田 一輔 | よしだ いちすけ

1983年、13歳のときに父・桐竹一暢に入門。桐竹一輔と名のる。1985年国立文楽劇場で初舞台。

2004年5月三代吉田襄助門下となり、吉田姓を名のる。国立劇場文楽賞、文楽奨励賞、咲くやこの花賞、大阪文化祭賞奨励賞ほか受賞。2014年に長男の義悠が吉田襄助に入門し、初の親子四世代での人形遣いが話題となった。

世襲制ではない文楽の世界では珍しい人形遣いの三代目、これからの文楽界を担う逸材である。

事前レクチャーに参加したら、次は舞台を楽しみましょう！

グランシップ出前公演「人形浄瑠璃 文楽」

2018年3月18日(日) 14:00開演(13:30開場)

御殿場市民会館 大ホール

全席指定/一般3,600円 子ども・学生1,000円

グランシップ友の会先行販売:12/10(日)~16(土) 一般発売:12/17(日)~

演目:「曾根崎心中」～生玉社前の段～天満屋の段～天神森の段～

天満屋の遊女お初と醬油屋の手代徳兵衛が互いに愛しあいながらも様々なトラブルに巻き込まれ、命を絶つことで互いの愛を貫いた、文楽の中で人気演目の筆頭である作品。一度は観たい近松門左衛門の名作、お初と徳兵衛の「曾根崎心中」にご期待ください。

〈交通アクセス〉

- ◆電車またはバスでのご来館
- ・JR御殿場駅より徒歩で約15分、タクシーで約5分・バス(富士急行)で市役所前バス停下車徒歩3分
- ◆お車でのご来館・東名高速道路御殿場ICより約5分

〈お問合せ〉

- ◆御殿場市民会館/御殿場市萩原183-1
TEL.0550-83-8000(毎月第3日曜休館)
- ◆グランシップチケットセンター
TEL.054-289-9000(10:00~18:30) <http://www.granship.or.jp/>



写真：青木 信二

